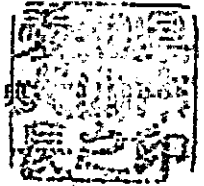


20犬都第82号

平成20年10月20日

国土交通省道路局長 殿

犬山市長 田中 志典



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付国道企第37号にて依頼のありました件につき  
まして、別紙のとおり回答します。

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

- 地域の活性化のために道路が果たす役割は非常に大きいですが、地方の道路整備はまだ不十分である。市町村が整備・管理をおこなう生活道路に対する住民ニーズが高いことから市町村への積極的な事業費配分をお願いしたい。
- 事業のすみわけをしっかりと行い、費用と時間を多く要するバイパス整備のみならず、事業の整備効果が早期に現れる交差点改良事業を重点的に推進していただきたい。また、地方部においてはリバーシブルレーンを活用するなど、現有資産の有効利用を図っていただきたい。
- 国道は地域の骨格を形成するため、整備のスピードアップが求められていることから、旧1級国道(2けた国道)の重点的な整備をお願いしたい。また、旧2級国道(3けた道路)については、都道府県や市町村が整備、管理もできるような仕組みも検討していただきたい。

○現状

・本市の主要な幹線道路は、広域幹線道路の国道41号が市の東西を横断し、これを補完する都市間連絡道として主要地方道春日井各務原線などが南北を縦断している。しかし、本市においては、車社会の進展と生活交流圏が拡大したことや、国宝犬山城をはじめとする観光資源が豊富であること、また、隣接する岐阜県各務原市、可児市なども名古屋への通勤圏であることから通勤時間帯の渋滞や、休日の観光地特有の渋滞により、生活道路への進入車両が多く発生している。このことから、幹線道路の整備やこれらを補完する県道や市道の整備が強く望まれている。

○課題

- ・生活交流圏の拡大や近隣市町から名古屋に抜ける車両に対応するための広域的な交通軸の整備
- ・交差点における渋滞解消のための交差点改良の促進
- ・幹線道路を補完する県道や市道の整備に対する支援の充実

○本市には国宝犬山城を初めとした歴史・文化資産、木曾川や東部丘陵の豊かな自然資産などの地域資源が多く存在し、それらを活かし、多くのことを学び、住みやすく安心して暮らせるまち「伝統・創造・共生が織り成す交流都市」を都市づくりの理念としている。

○交通体系に関しての具体的な整備方針として、

- ・名古屋都心、中部国際空港などと結ぶ広域幹線道路である国道41号及び地域高規格道路の名濃道路を広域交通軸と捉え、交通ネットワークを形成していく。
- ・通過交通による交通混雑を解消し、円滑な交通処理を担う環状線の整備を重点的に進める。
- ・本市と隣接する岐阜県の各都市との交通ネットワークの強化を図り、市の経済、産業等の発展を図る。

を都市計画マスタープランに位置づけている。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

愛知県犬山市

| ○重点事項                                                                   | ○代表事例                                                                               | ○期待する効果や評価等                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | ○その他 |
|-------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| <p>○都市交通の快適性・利便性の向上</p> <p>○都市交通の快適性・利便性の向上</p> <p>○良好な生活空間・自然環境の形成</p> | <p>○名濃道路の早期整備</p> <p>○国道41号可児市～犬山市区間の交差点改良</p> <p>○国道41号を補完する県道及び市道の整備に対する支援の充実</p> | <p>○国道41号村中交差点については、交差点南側が10車線(名高速4車線、国道41号6車線)に対し交差点北側は4車線であること、名高速のランプが交差点南側で国道41号交差点に合流していること、さらに名神高速道路の小牧インターのランプも国道41号に合流していることから1日中渋滞が激しい状況となっている。これを解消するためには、地域高規格道路の名濃道路の整備が必要である。特に、村中交差点～オークマ前(中小口5交差点)の区間の整備が早急に必要である。</p> <p>○国道41号(犬山市～可児市)については、通勤時間帯の渋滞が激しく、また、休日には観光地特有の渋滞になることから周辺の県道や市道などの生活道路に迂回する車が多く、地域の安全が脅かされている。こういった状況を解消するために、主要交差点の改良を行うことにより早期の整備効果を得られる。</p> <p>○国道41号の整備のみならず、これを補完する機能を持つ県道及び市道の整備をすることによって自動車交通を分散させ、渋滞の解消が図られる。</p> |      |